ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	No.7(測点No.113+1.5)	調査位置				北　緯	36 ° 48 ’ 48.0000 ”
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2008-02-26 ～ 2008-02-29	東　経	140 ° 01 ’ 08.0000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	180.50 m	角度	180° 上 下 90° 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	15.09 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) / 測定月日
0	180.10	0.40	0.40		黒ボク (Kb)	黒褐			粘性弱い,含水中位 やや有機質を呈す 腐植物,植物根混じる		
					ローム (Lm)	暗褐		硬い	粘性,含水中位 やや固結し,スコリア混じる		
1	179.25	0.85	1.25								
					砂礫 (GS)	暗褐灰	中ぐらい		礫はφ2～50mm程度の円,亜円礫を主体とする 礫間は主に砂で充填され,細粒分の混入は少ない 所々にφ100～150mm程度の玉石を点在する 4.6mで掘削水が逸水する		
4	175.90	3.35	4.60								02/28 4.40
					粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐	中ぐらい		礫はφ2～50mm程度の円,亜円,風化礫主体 礫間は砂および粘土で充填される 4.6～6.8m間は粘土分の混入やや少ない 6.8m以深は固結した凝灰質粘土多く含む 色調は黄褐色～やや褐色を呈す 9.7m付近から全体に礫径大きくなり,φ100～200mm程度の玉石を点在する 密実である 14m以深,玉石の混入が多い		
15	165.41	10.49	15.09								

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0-10	10-20	20-30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値
1.15	3	6	8	17/30	17
1.45					
2.15	8	8	11	27/30	27
2.45					
3.15	9	10	11	30/30	30
3.45					
4.15	12	18	10	40/30	40
4.45					
5.15	9	10	8	27/30	27
5.45					
6.15	12	11	13	36/30	36
6.45					
7.15	15	12	15	42/30	42
7.45					
8.15	11	13	15	39/30	39
8.45					
9.15	12	14	15	41/30	41
9.45					
10.15	15	31	4/1	50/21	>50
10.36					
11.15	20	23	7/2	50/22	>50
11.37					
12.15	22	28/9		50/19	>50
12.34					
13.15	19	27	4/1	50/21	>50
13.36					
14.15	18	32/7		50/17	>50
14.32					
15.00	50/9			50/9	>50
15.09					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験	掘進月日
	02/27
	02/28